
携帯電話

煉火赤駈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

携帯電話

【Nコード】

N7722H

【作者名】

煉火赤駆

【あらすじ】

携帯電話を買ったカスピアン。しかし、入ってくるメールは……

(前書き)

一応、完結後ストーリーのつもりですが、
いろんな設定がいろいろ加減です。
ジョークで書きました。

カスピアンは携帯電話を買った。

理由は特にない。強いて言えば近所のコギャル、というカラサラ
リンに

「ちょ、このオッサンまだケータイも持ってないとかマジありえな
くね？」

とか何とか笑われたからだ。

メールアドレスと電話番号を親しい友人やら家族やらに報告した
ので、そろそろ誰かから連絡があってもいいころだろう。

ピルルルルル……。

若干時代遅れな着信音が響いた。

「お、誰からだろう」

カスピアンはわくわくしながらメールを見る。

- - -
- - -
- - -

件名：携 帯おめ であう

差出人：リリアン

父さんもつ いに携 帯デビューだね。

「あつ、ルーシィ」

相手を確認しないで出てしまったが、どうやら相手はエドマンドの妹、ルーシィらしい。

早速さっきのメールのことを聞こうと思ったが、その前にルーシィが話し始めた。

『さっき、兄貴から変なメールいかなかった？ 一斉送信でこっちにも来てるんだけどさ』

「う、うん。来たけど、何。あれ」

『うん、アレ、あんまり気にしないで。週一ぐらいで送られてくるけど、なんか発作みたいなものだから』

「そうなんだ……エドマンド、大丈夫？」

『うーん、大丈夫じゃないかも』

その時。電話の向こうでバシューというノイズが聞こえた。

『チツ、兄貴！ 人いんのバルサン焚くな！ 死ね！ あ、

カスピアン。ごめん、今忙しいから』

ピッ。一瞬キャラ崩壊した後、ルーシィは電話を切った。

「……………ふう」

カスピアンはため息をついた後、ユースチスに電話をかける。

「もしもし、ユースチス？ 携帯電話つて、結構心臓に悪いんだね」

『？ ペースメーカー使ってなかったら大丈夫じゃないのか？』

(後書き)

メールの文章だけで十分怖いかなーと思ったのですが、
よくわからなかった人には素晴らしい元ネタ様

[http://urasoku.blogspot.com
/blog-entry-83.html](http://urasoku.blogspot.com/blog-entry-83.html)
[http://www.nicovideo.jp/watch/
sm2783004](http://www.nicovideo.jp/watch/sm2783004)

これらのパロディです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7722h/>

携帯電話

2010年10月21日22時27分発行